

山頼教頭先生、永きに渡りお疲れさまでした

4月の学校だよりでも紹介させていただきましたが、山頼教頭先生が、この3月末をもって、ご退職されました。知立中学校では、教頭として3年、教諭として12年の合わせて15年間お勤めいただきました。その間、学級担任、学年主任、校務主任等を歴任され、教頭時代の3年間も一部のクラスではありますが、英語の少人数指導にも携わっていただきました。また、PTA活動においてもその中心となり、多くの保護者の皆様にもお世話になりました。ここでは、全校生徒が、サプライズで山頼教頭先生の卒業式を計画、実行してくれた時の様子を簡単に紹介します。

《3年生》

令和6年3月5日、卒業式の予行練習の後に、3年生がサプライズで山頼教頭先生の卒業式を行ってくれました。生徒代表から特別卒業生として卒業証書と花束を手渡されました。その後、山頼教頭先生から3年生にお礼の言葉がありましたが、途中で涙で声を詰まらせ、最後まで聞くことができませんでした。また、その後、3年生から校歌の歌声がプレゼントされると、涙をぬぐいながら校歌を聞く山頼教頭先生の姿がありました。私も何年も山頼先生と一緒に勤めてきましたが、あのような姿を見るのは初めてで、私自身大変感動し、3年生に感謝の気持ちでいっぱいになりました。



《1・2年生》



3月24日、令和5年度の修了式の後に、今度は1・2年生がサプライズで山頼教頭先生の卒業式を行ってくれました。3年生と同様に卒業証書を手渡し、山頼教頭先生から最後のお話を聞き、みんなで校歌を歌いました。退場の際は、全員で花道を作り、その中を退場してもらいました。授業や小学校時代からお世話になっていた生徒の中には、涙を流しながら山頼教頭先生に声をかけている生徒もいました。これまた、大変感動的なシーンでありました。



1・2年生に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

最近の知中の様子

《1年生も少しずつ中学校生活に慣れてきました》



ご家庭でも学校の様子を是非聞いてください。また、その中で気になることがありましたら、学校へお知らせください。